

株式会社アイワ製作所

鏡板の加工技術を日々磨き、品質を徹底的に追求

納期相談
コスト相談
メイドイン
ジャパン

鏡板製造の様子

業務内容
小型から大型まで多様な鏡板を幅広い業界に提供

化学プラントや食品工場などに設置される大型圧力容器や貯蔵タンク向け鏡板の専門メーカーとして、石油化学や食品、薬品などさまざまな業界を支えてきた。鏡板は容器やタンクのフタにあたる部分で、厚い鋼板を丸く切断し、プレス機で曲げて製作する。サイズは小さいもので化学機械向けの直径90mmから、最大ではプラントのタンクに用いる同3500mmまでと幅広く、同社が得意とするのは1500mmクラスだ。主力拠点の伊賀上野工場（三重県伊賀市）で大型品、枚方市の本社工場では小型品と分業体制を敷く。同業他社の多くが温間プレスで手がけるのに対し、同社は冷間プレス専門という。納入先は食品機械やコンプレッサのメーカーを中心に、全国で3000社弱を数える。



鏡板製品

強み
プレス加工前と加工後の板厚の変化を保証

材料を吟味し、素材と仕上げ寸法の公差を管理するノウハウを蓄積。アルミやステンレス、チタン、銅、炭素鋼、高張力鋼などの材質を使用条件によって使い分ける。プレス加工により鋼板の厚みが薄くなるため、材料を仕入れた段階で板厚を測ってプレス後に再び測定し、製品供給時に伸び具合が分かるデータを添えて

板厚を保証する。

品質や顧客満足度の向上、技術の研鑽にも余念がない。過去の実績を検討し、クレームなどの原因を追求して再発防止に役立てようと品質委員会を月1回開催。「当社ほどの規模でこまめで行っている会社はあまりない」と野田賢一社長は胸を張る。

人材育成
技術教育に注力し多能工化も推進

他社から講師を呼んだり外部の講習会に社員を派遣したりして知識習得を促し、一人ですべての作業を担当できるようプレス工程内でジョブローテーションも実施する。伊賀上野工場には平成26年7月に初めて海外実習生3名をベトナムから受け入れている。

今後の展開
建設や造船向けの需要を開拓、増産体制整備へ

常時、年間1000万円程度を投資するという同社。平成27年1月にはターナーグループを買い替えており、野田社長は「どんな状況でも投資は継続する」と方針を貫く。業界では、30年以上前に250億円だった国内生産額が現在半減し、同業者も60社から10社未満に激減している。業界で最後発の同社は「他社と同じことをしていても生き残れない。不況に強い会社になりたい」と新規顧客の開拓や休眠顧客の掘り起こしを徹底し、受注を拡大する。建設や造船といった業界向けには今後2年程度は需要が見込めるといふ。そこで、月間6000枚の鏡板の生産量を同8000枚まで引き上げる方針だ。

COMPANY PROFILE

株式会社アイワ製作所

大阪26

ISO 9001

当社の歴史

鏡板製造を専門に40年余り、高度なプレス加工技術を培い実績を積み重ねてきました。当社が手がけた製品はあらゆる分野で、身近なところでも使われています。「品質・コスト・納期・サービスで社会に貢献する」を経営方針に掲げて取引先と密着した営業活動に取り組み、技術力をさらに磨くことで、お客様の多種多様な要望に応えていきたいと考えています。

より良い鏡板をより早く、より安く提供します。

代表取締役 野田 賢一さん



■主な事業内容

圧力容器用鏡板の製造・販売

■主な取引先（納入先）

化学薬品用容器・食品機械・熱交換器・コンプレッサ・車両のエアブレーキなどのメーカー

住所／〒573-1153
枚方市招提大谷
2-16-29
TEL／072-850-1458
FAX／072-850-2626
創業／昭和48年7月
設立／昭和48年7月
資本金／6,000万円
従業員／45名

http://www.aiwaltd.co.jp